

鯖江市議会報

第251号

令和6年

11月25日発行

【今号の表紙】

Y・Hさん提供

バスタランドにてお友達とenjoy

東陽地区活性化プロジェクトの中間発表会
～東陽中学校3年生と議員の語る会～
を実施しました！！

- 第446回 9月定例会 2
- ここが聞きたい！一般質問 9
- 議会報告会運営委員会 14



鯖江市議会を
もっと詳しく！

第446回 9月定例会

【会 期】 8月27日～9月17日(22日間)

【議決内容】 市提出議案5件を可決、1件の専決処分を承認、3件の人事案件に異議なしとしたほか、請願1件を継続審査しました。3つの常任委員会の審査内容はP.4～P.8に、全議案の議決結果はP.8に記載しています。

〈補正予算〉⇒ 可決



■ 議案第49号 令和6年度鯖江市一般会計補正予算(第3号) …… 2億8,240万円

主な事業	補正額	内 容
防災・減災対策 	1,328万円	大規模災害に備えた備蓄品(飲料水・毛布・簡易トイレ)の整備、住宅への感震ブレーカーの設置補助金の新設、旧耐震木造住宅の耐震診断・改修に係る補助金の追加
ハピラインふくい 鯖江駅環境整備 	1,250万円	鯖江駅売店の店舗整備に向けた基礎工事、えきライブラリー tetote移転のための実施設計に係る費用(⇒P.4)
物価高騰対策 	2億1,270万円	冬期通学バス運行補助金の増額(⇒P.8)、新たに住民税非課税または均等割のみ課税となった世帯への給付金、定額減税により減税しきれない人への不足額の給付金(⇒P.5)
鳥獣害対策 	730万円	住宅密集地への防除資機材の貸し出し、長泉寺山への電気柵設置、ラポーゼかわだへのネットフェンス設置に係る費用(⇒P.6)
補助制度による 各種施策の推進 	1,525万円	介護予防拠点整備、生ごみ処理機の購入、産直システム整備や機器導入に係る費用への補助(⇒P.4)
施設の維持 補修等 	600万円	神明幼稚園遊戯室への空調機器移設、文化センターホールの室外機故障による交換
その他 	1,537万円	老朽化による市営住宅入居者の転居費用補償(⇒P.6)、インターネット接続環境更新費 ほか

※金額は端数処理をしています。

■ 議案第50号 令和6年度鯖江市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)…… 690万円

マイナンバーカードと健康保険証の一体化の運用に伴うシステム改修に係る負担金増額分、被保険者への加入者情報等の送付に係る郵送料として役務費の増額

■ 議案第62号 専決処分の承認を求めることについて(令和6年度鯖江市一般会計補正予算(第2号))… 1億400万円

法令に従い前年度に法人市民税を予定納税したが、決算後の確定申告により事業収益減や控除追加等に伴い令和6年度の税額が大きく減った法人への還付金

〈条例の改正〉⇒ 可決

■ 議案第59号 鯖江市個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

医療費助成の受給資格を認定する際や外国人に対する生活保護の措置をする際には、健康保険情報の確認が必要であることから、健康保険証が原則廃止されマイナンバーカードに一体化された後に、個人番号の利用による保険情報の確認が行えるよう、個人番号の利用についての規定を追加する。



■ 議案第60号 鯖江市国民健康保険条例の一部改正について

デジタル社会の基盤であるマイナンバーやマイナンバーカードについて、さらなる利用を促進し、国民の利便性向上を図ることを目的として「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の一部改正に伴い、国民健康保険法の一部が改正されたことにより、所要の改正を行う。

■ 議案第61号 鯖江市地域交流センター設置および管理に関する条例の一部改正について

PFI事業が令和6年度で終了することに伴い、指定管理者制度による施設の管理運営を行えるよう改正を行う。
※PFI…民間の資金と経営能力・技術力を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法

議案第61号に対する Q&A

Q. 現行条例の中でも指定管理に関する規定があるが、どのような理由で改正をしなければならないのか？

A. 現行の条例は、平成17年6月に定めた鯖江市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例の施行前に制定された条例であることから、今回、指定管理者を更新するに当たり、市が指定管理している他の施設同様に、条文の構成を一律にそろえたいということから、所要の改正を行う。

Q. 管理運営を指定管理者制度で行うという方向性について、内部でどのような検討をしたのか？

A. 鯖江市地域交流センター(市民ホールつつじ)には、4階の浴室・休憩室、3階のトレーニングルーム、2階の多目的ホール、その他共有施設がある。このように複合的な機能を持つ施設では、多様なサービスの提供、運営の効率化、とりわけお風呂の管理運営には、専門的な知識、ノウハウが必要となってくる。これらを総合的に判断し、民間企業のノウハウを活用することで、利用者にとって安全で、かつ魅力的なサービスを提供しつつ、さらには市の財政負担を抑えることが可能と判断したことから、新たな指定管理者の募集を行うこととした。

〈請願〉⇒ 継続審査

■ 請願第1号 鯖江市民活動交流センターの現在地での存続を強く求める請願(⇒P.5)

内容 市民活動交流センターについては、嚮陽会館に集約せず現在地での存続が望ましいと考え、計画見直し等の検討を求める。

経過 6月定例会での審査の結果、市と市民団体との間で十分な意見交換や情報共有を図るべきとして継続審査となっていた。



現在の市民活動交流センター

総務委員会

【議案第49号】令和6年度鯖江市一般会計補正予算（第3号）

1,250万円

ハピラインふくい鯖江駅売店改修に係る経費と利用の見込みは？

説明 鯖江駅売店については、今年1月にセブンイレブンが閉店し、空き店舗となっていたが、7月のプロポーザル審査会で株式会社ファミリーマートを運営事業者に決定した。

今回の補正予算額1,250万円のうち、1,200万円は、売店の改修工事に係る経費および「ハピラインふくい鯖江駅」の賃借料と光熱水費。50万円は、今後予定している「えきライブラリー tetote」の移転工事の設計委託費である。

売店の改修工事総額3,300万円のうち、ファミリーマートは、内装や什器等の整備費2,200万円を負担。市は、設計委託費50万円、壁面や床面などの改修や給排水設備工事・電気設備工事など850万円の基礎工事、「ハピラインふくい」が実施する工事の負担金200万円の合計1,100万円を負担する。

なお、利益が出た場合のファミリーマートから市への納入金については、今後5年間の収支見込を確認したところ、駅利用者の減少や設備投資費用などを考慮すると現在のところ見込めない。

問 売店の運営について、大きな利益は見込めないとのことであるが、売上げや利用者をどれくらい見込んでいるのか。

答 1日当たりの売上げは約15万円の見込み。一般的にコンビニでは人流の1割を利用者と見込むため、ハピラインふくい鯖江駅の1日当たりの利用者が7月末現在で約3,800人であることから、その1割の約380人は見込める。しかし、この人数では利益が見込めないため利用者数を増やしていく必要があるが、劇的な増加は見込めない。

問 売店の赤字が継続した場合に、市が補填することはあるのか。

答 市が赤字を補填することは考えていない。

意見 市民の要望どおり、駅に売店ができることに対し、事業者と行政の努力に感謝したい。ただ、利益が見込める場合は、双方で市への納入金額を協議するとしているが、利益が見込めた段階ではなく、その前段階から算出方法について検討し、事業者と協議を行うなど準備を進めてほしい。

【議案第49号】令和6年度鯖江市一般会計補正予算（第3号）

65万円

新たに電気式の生ごみ処理機が補助対象に！

説明 家庭から出る生ごみ減量のため、生ごみ処理機の購入費用の一部を補助するもので、補助率2分の1、上限額は3万円である。以前からモニター利用を展開していたダンボールコンポスト、LFCコンポスト、トラッシュ、キエーロの4種類に加え、手回し式、乾燥タイプや堆肥タイプといった電気式の生ごみ処理機も補助対象に加えた。これらを補助対象としたことで、庭や畑がない世帯に対しても生ごみ減量呼びかけていく。

電気式



意見 補助制度の復活や電気式の処理機を補助対象にすることで、新たに生ごみの減量化に取り組んでもらおうとする考えは望ましい。ただし、生ごみ処理機がすべての家庭に行きわたる状況ではないため、例えば、地域で生ごみを回収して地域で堆肥化する手法や、家庭から出る剪定くずや除草くずを一般ごみとして排出させない取組など、今後は、今回の補助制度と並行して、このようなことも検討し、取り組んでいくことで、生ごみだけでなく、市全体のごみの減量化をより一層進めていってほしい。



ダンボール
コンポスト



LFCコンポスト



トラッシュ



キエーロ

定額減税補足給付金の申請状況と申請を促進する手法は？

説明 6月補正時に対象者を12,000人と見込んでいたが、7月1日時点で再抽出したところ13,596人となり、1億9,600万円の増額補正が必要となった。9月6日現在の申請受付は8,426人、申請率は61.9%である。



問 申請期限の10月末までに申請がなかった場合はどうなるのか。

答 その場合、調整給付金の給付を受けることを辞退したものとみなすと定めているため、その後の申請を受け付けることができない。そのため、9月中旬に1回目の催促通知をはがきで、10月中には、最後の催促通知を送付するとともに市の公式LINEなども活用しながら対象者の方に申請してもらえよう努めていく。

【請願第1号】

賛成全員で継続審査

『鯖江市民活動交流センターの現在地での存続を強く求める請願』を審査

審査の経過

この請願については、6月定例会で、「嚮陽会館に市民活動交流センターの機能を移行することで、そこを拠点に、どのようにしたらこれまで以上に市民活動に参加する人が増え、活発に市民役が推進できるのか」といった手法や活動場所の配置などについては、市と市民活動団体との間で、十分な意見交換や情報共有を図るべきである。」との意見が出され、継続審査となっていた。

問 請願者である2団体を含め、市民活動団体との協議をこれまでどのように進めてきたのか、またどのような意見が出されているのか。

答 請願者の2団体とは、個別に協議の場を持つとともに、7月末には、市民活動交流センターで、センターの利用者や市民活動団体13団体との意見交換会を開催した。機能移転については、市民活動エリアのゾーニングや機能の配置について、具体的に提示できるものがなく、イメージしてもらうことが難しい状況の中、市民活動団体からは、これまでどおりの活動ができるかという不安や遮音性の問題など、様々な意見があった。

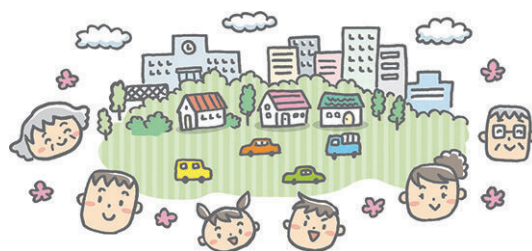
その後、8月下旬に基本設計や実施設計を担う事業者が決定したため、今後は事業者との協議を重ね、市民活動団体からの要望や必要な機能を反映した図面などを基本設計のたたき台として作成する。

10月には、それを請願2団体を含めた市民活動団体に提示し、改めて意見交換をする予定である。

継続審査に関する意見

今回の機能移転については、現在のセンター利用団体が固定化されるという課題が存在する中で、交流ということに主眼を置き、嚮陽会館を拠点に互いが交流を深めながら活発に市民活動を進めていこうという目的がある。設計に当たっては、活用しやすい共有スペースや交流スペースなどがしっかりと確保できるよう努め、市民活動団体に提示して、説明する機会を確実に設けてほしい。

機能移転に向けて、市民活動団体の様々な要望が、今後形になって見えてくるものがあると思われる。現段階としては望ましい方向に向けて進んでいる。もう少し時間をかけて、関係者が互いに歩み寄って話し合うべきと考え、再度、継続審査とすることが望ましい。



産業建設委員会

【議案第49号】令和6年度鯖江市一般会計補正予算(第3号)

500万円

西山公園への電気柵の設置について

説明 イノシシ対策として、西山公園展望広場より南側へのイノシシの侵入を防ぐため、公園の東西に電気柵を設置するための費用である。さらに、農林政策課や地元町内会と協力して長泉寺山トンネル付近まで電気柵を設置し、囲い込みエリアをつくることで頭数の削減に向けた管理をしていく。

これら電気柵によるイノシシ対策を行うことで、公園施設の保全と公園利用者の安全・安心の確保を図りたい。

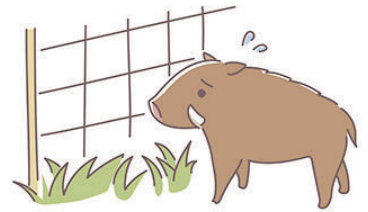
問 実際に何か被害は出ているのか。

答 西山公園内での被害は、園路の端で掘り起こしが確認された程度である。公園利用者への被害は、現時点では確認されていない。

意見 人が被害に遭わないことが重要である。それぞれの担当課が部分的な対応をするのではなく、市全体で、安全を考慮し万全を期した適切な対応をしてもらいたい。

問 公園内に設置する柵によって、一部公園機能が損なわれることが懸念されるが、将来的な見通しはあるのか。現在確認されているイノシシの捕獲後は、公園内に設置した柵の撤去や移動について検討しているのか。

答 基本的には柵は園路沿いに設置し、園路を横断する部分にはゲートを設け、注意喚起の看板を設置する。まずはイノシシ対策が必要だが、西山公園は誰でも自由に散策できる場所であり、ある程度めどがついた段階で、柵を撤去するのか、または位置を変更するのか、利用者の利便性を損なわないように改めて検討したい。



【議案第49号】令和6年度鯖江市一般会計補正予算(第3号)

100万円

住居密集地域での獣害対策について

説明 本市では、イノシシ等の獣害対策として山際地域での獣害防除柵の設置と管理を国や県の支援を受けて行ってきたが、近年は住居密集区域においても大型獣の生息が確認されるようになっていく。

しかし、農地が存在しない地域には、国や県、市からの支援がないため費用負担が重く、獣害対策が進展しにくい。そこで、獣害防止のため、鳥獣害防止柵トライアル事業として貸出用の被害防除柵を市が用意し、一定期間トライアルで利用し効果を実感することで、防止柵の整備を促進し、被害低減につなげたい。

問 柵の設置には地元町内会の協力を得ることになるが、地元と協議しているのか。

答 毎年、市内全域の区長を対象に獣害防除柵等の希望調査を行っており、今回、国・県の支援策のない住居密集地域の町内から防除柵設置の要望があり、当該町内の農家組合とも協議を進めている。

【議案第49号】令和6年度鯖江市一般会計補正予算(第3号)

559万円

老朽化した市営住宅の今後の方針は？

説明 老朽化や旧耐震基準の市営住宅に居住されている人に、安全な他の市営住宅等に移転していただくための移転費用の補償に要する費用である。

現在7世帯が移転を希望しており、さらに年度末までに8世帯を見込んでいるため、合わせて15世帯の移転を想定した増額である。

問 今後の市営住宅の方針はあるのか。また、その方針は対象者に説明しているのか。

答 令和3年に鯖江市営住宅等長寿命化計画を策定している。その中で、吉江団地と北鯖江団地については、築50数年が経過して老朽化が著しいことから、移転していただいた後は取り壊し、廃止の計画となっており、それを説明した上で移転のお願いをしている。桜町団地と北野団地については、現行の耐震基準に適合しておらず設備等の老朽化も進んでいることから、入居者の安全確保のため移転に取り組んでいるが、耐震工事や建て替え、廃止等今後の方針については、人口減少なども踏まえて改めて検討する。

教育民生委員会

【議案第50号】令和6年度鯖江市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

マイナンバーカードを国民健康保険証として利用する仕組みへの移行について

説明 「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律」の施行により、令和6年12月2日から、マイナンバーカードを健康保険証、いわゆるマイナ保険証として利用することを基本とする仕組みへ移行することに伴い、マイナ保険証を持っていない人への国民健康保険証の代わりとなる「資格確認書」の発行、マイナ保険証を持っている人への「資格情報通知書」の発行を行うためのシステム改修、被保険者への保険加入情報等確認のための郵便代としてかかる経費である。

なお、システム改修等に係る経費については、全額、令和6年度の国庫補助金として交付される見込みである。

問 国民健康保険に加入している人のうち、マイナ保険証の登録をされた市民はどのくらいいるのか。

答 マイナンバーカードの保有率は、7月末現在で、市全体として77.6%であり、5万3,108枚である。

国民健康保険の被保険者については、6月末現在でマイナ保険証として、63.5%の人が登録している。また、マイナ保険証を実際に使用された利用率は約15%にとどまっているが、全国平均の10.9%より高くなっている。

なお、福井県の医療機関等におけるマイナ保険証用のカードリーダーの設置率は、95.6%で全国1位であり、ほとんどの医療機関等でマイナ保険証を利用することが可能である。

問 マイナ保険証の登録をしていない場合、本人からの申請がなくとも、市がシステムで登録状況の確認を行った上で、資格確認書を送付するというのか。

答 マイナ保険証を持っていない人については、これまでの国民健康保険の被保険者証と同様に、8月1日から翌年7月31日を有効期限とする資格確認書を、本人からの申請がなくとも、当面の間、毎年送付する。

また、例えば、施設に入所されている場合等は、これまで被保険者証を施設職員に預けて受診していたと思われるが、マイナ保険証を、施設職員に預かってもらい受診することは難しい。そういった理由により、マイナ保険証を持っている人であっても資格確認書が必要な場合は、申請していただくことで、資格確認書の交付が可能である。

なお、一過性の理由ではなく、今後継続して配慮していく必要があるような場合は、一度申請すれば、その後は継続的に資格確認書を交付することが可能である。新しい制度に関する周知については、市としてもしっかりと行っていきたい。

問 お薬手帳に記載されている投薬情報についても、オンラインで医療機関等が確認できるようになっていると思うが、今でも、医療機関へ処方箋をもらいに行く際は、紙のお薬手帳を持っていく必要がある。その理由は。

答 オンラインで医療機関が確認できる投薬情報は、過去1か月前から数年前と言われており、直近の情報まで確認のできる電子処方箋が完全に普及するまでの間は、お薬手帳などを各自で管理し、持参していただく必要がある。

マイナ保険証の制度について周知を行う際、直近のお薬情報などの持参についても併せて周知する予定である。

問 データの一元化の観点から、臓器提供の意思表示などについても、今後、マイナ保険証へのデータの紐づけはあるのか。

答 マイナンバーカードの利活用については、国で検討を進めており、臓器提供の意思表示に関するデータの紐づけについて、どのような検討がなされているか現段階では分からないが、そういった情報については、適時、広報さばえなどで周知に努めていきたい。



冬期通学バス運行補助金について

説明 冬期間の登下校時の安全確保を目的にPTAの皆様により運行されている鯖江中学校、中央中学校の冬期通学バスに係る利用料金が、昨年度と比較して約3割増加すると見込まれることから、各校のPTA代表からの補助金増額の要望を受け、バスを利用する子育て世帯の経済的負担の軽減を目的とし、生徒1人当たりの補助額を3割増しの1万3千円とするものである。

問 今回の補助金増額により、令和6年度も利用料金の3割ほどの補助となるが、この補助があったと

しても、3万円を超える利用料金を保護者が支払う必要があり、バス利用に係る保護者の経済的負担は大きい。今後もバスの利用料金が高くなることが予想されるが、利用料金が高くなると、利用者が減り、利用者が減ると、バスを利用するための保護者1人当たりの負担が増え、さらに利用者が減るといった、負のスパイラルになることも懸念される。今後の冬期通学バスの在り方について、どのように考えているか。

答 将来的に、冬期通学バスの利用料金が高くなることが予想されるが、バスの利用者は、全生徒の約3割である。補助金の原資は税金であるため、公平性、公共性を考慮する必要がある。

今後の市内3中学校の冬期通学バスの運行、支援については、市と関係者との間で、どのような形で進めるのがよいか検討していきたい。

議案と議決結果

議決番号	件 名	議決結果
------	-----	------

【5月9日提出・9月17日議決】

請 願 第 1 号	鯖江市民活動交流センターの現在地での存続を強く求める請願	継続審査
-----------	------------------------------	------

【8月27日提出・9月17日議決】

議案第49号	令和6年度鯖江市一般会計補正予算(第3号)	可決
議案第50号	令和6年度鯖江市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第59号	鯖江市個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	//
議案第60号	鯖江市国民健康保険条例の一部改正について	//
議案第61号	鯖江市地域交流センター設置および管理に関する条例の一部改正について	//
議案第62号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度鯖江市一般会計補正予算(第2号))	承認

【9月17日提出・同日議決】

議案第63号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし
議案第64号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	//
議案第65号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	//

【8月27日提出・9月定例会後の継続審査(12月定例会で議決予定)】

議案第51号	令和5年度鯖江市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
議案第52号	令和5年度鯖江市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//
議案第53号	令和5年度鯖江市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	//
議案第54号	令和5年度鯖江市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//
議案第55号	令和5年度鯖江市総合開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//
議案第56号	令和5年度鯖江市水道事業会計決算の認定について	//
議案第57号	令和5年度鯖江市公共下水道事業会計決算の認定について	//
議案第58号	令和5年度鯖江市農業集落排水事業会計決算の認定について	//

表決が分かれた案件はありませんでした。

ここが聞きたい！

一般質問

一般質問とは？

市の様々な課題等について、議員が市長や理事者に考えを聞くものです。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。



ページ	質問者	質問内容	日程	ページ	質問者	質問内容	日程
9	えばた かすたか 江端 一高	1.佐々木市長の市政4年間について 2.防災・減災対策について	9/5 午前	11	だいもん よしかず 大門 嘉和	1.佐々木市長の1期目の総括 2.地方交付税について 3.まなべの館とNPOセンターについて 4.伝統工芸越前漆器のこれから	9/6 午前
10	みむら しょうじ 三村 尚司	1.水道水の現状について 2.小中学校における水泳学習の現状について 3.夏休み中の児童センターの現状について 4.中学冬期通学バスについて		9/5 午後	12	はやしした とよひこ 林下 豊彦	
	ほりかわ ひでき 堀川 秀樹	1.地区まちづくり計画支援事業について 2.結ネットの普及について 3.市制70周年記念事業の取組について	たなか よしゆき 田中 良幸			1.発がん性物質「PFAS（ピーファス）」の汚染について 2.学校給食について 3.間部詮勝公の顕彰について	
	かとう まさる 加藤 優	1.災害発生後の備えについて 2.HPVワクチン接種について	とうい ただよし 東井 忠義			1.障がい者スポーツについて 2.人口減少問題について 3.子育て支援について 4.学校給食について	
11	さかい ゆきこ 酒井 友季子	1.子どもの学校生活について 2.「つつじマラソン」について 3.高齢者の移送の現状について	9/5 午後	13	かえりやま あきお 帰山 明朗	1.本市における指定管理者制度に係る課題への対応について	9/6 午後
	きむら あいこ 木村 愛子	1.佐々木市政4年間の総括について 2.ふるさと納税について			にしの ゆか 西野 有香	1.魅力ある里山「三床山」に係る整備について 2.教育環境の充実について 3.市民主役のまちにおける市民参加について	

※質問内容のうち、青字で下線が引かれたタイトルは、以下に詳細を掲載しています。



えばた かずたか
江端 一高 [さばえ結の会]



市長に問う！1期目の総括と2期目に向けての抱負は？

問 市長自身は、1期目4年間をどのように分析、評価しているのか。

答 市長 一定の成果は出したものと自負しているが、私が抱いていた理想の鯖江の姿の実現に向けては、道半ばである。激動する社会情勢の中で、時期を逸することなく様々な事業を展開するべく全力を尽くす日々であり、責任の重さ、難しさを痛感した。一方、多くのことを学び、この経験を市政運営に生かしていくことが市民の皆様に対する私の責務だと考えている。

問 2期目に向けて、残された課題、財政とのバランス、選択と集中において市民の求めているものと乖離しないために、どう取り組むつもりか。

答 市長 私が就任当初から目指しているのは、笑顔があふれるさばえの実現である。人が集い、一人一人が輝き挑戦する、そんなまちである。引き続き、「みんなでつくろう、笑顔の鯖江！」を掲げて課題解決に勇往邁進していきたい。

※答弁の詳細は、議会の動画配信をご覧ください。

南海トラフ地震臨時情報の発表時の対応と、大規模災害への備えについて

問 南海トラフ地震臨時情報が出された場合、市はどのような対応をするのか。

答 鯖江市はこの情報の対象地域には含まれていない。しかし、本市では最大震度5強と想定されており、地域防災力の向上のため継続して訓練、出前講座やサロン等を通じて、市民の防災意識を高める啓発事業を進めていく。





みむら しょうじ
三村 尚司〔さばえ結の会〕



▶ 鯖江市内の水道水の現状について

問 法定耐用年数40年を超える管路の老朽化が進んでいるが、更新率は。毎年、の管路更新の予算は適当なのか。

答 市全体約633kmのうち40年を超える管路老朽化率は31.7% (201km)、昨年度の更新率は0.2% (1.3km) にとどまっている。ここ数年、管理センターのポンプ更新に予算を割いていたが、財源を確保しながら耐震化を兼ねた老朽管更新を計画的に進める。

問 水道水における有機フッ素化合物PFASについて。

答 PFASとは有機フッ素化合物の総称で、発がん性、免疫系の障害等、健康への悪影響が指摘されている。本市の水道水は大部分が日野川地区水道用水供給事業によって供給されているが、県に確認したところ浄水場出口での水質検査で検出下限以下 (5ナノグラム未満) となっている。本市独自に各施設にて水質検査を行っているが、いずれも検出下限以下との結果であり、安心して水道水を飲んでいただける。今後も定期的に水質検査を実施して水道水の安全供給に努める。

【その他の質問】

- ・小中学校の水泳学習の現状について
- ・児童センター、学校施設等のエアコン設置状況について



ほりかわ ひでき
堀川 秀樹〔さばえ結の会〕



▶ 地域まちづくり計画支援事業について

問 まちづくり支援事業とはどのようなものか。また、現在の状況は。

答 住民自らが考え、自分たちのまちを自分たちでつくる手段として、地区の将来像を見据え、地区の特性を生かした地区まちづくり計画の策定が必要であると考えている。この計画を策定する過程を伴走支援するもの。北中山地区が既に策定しており、吉川地区と豊地区の2地区が、計画策定に向けて現在取り組まれている。



北中山夢まつり

▶ 結ネットの普及について

問 結ネットの加入率は。

答 市区長会連合会と各地区の区長会連合会の11団体、そして、24町内会が加入しており、現在のところ約16%である。

▶ 市制70周年記念事業の取組について

問 市制70周年事業の取組について、どのように考えているのか。

答 副市長 来年は市制施行70周年に当たるほか、世界体操競技選手権鯖江大会開催から30年、西山動物園が開園して40年、眼鏡産地生誕120周年など、幾つもの節目が重なる。大阪・関西万博も開催される記念すべき年でもあり、本市を全国、世界に広く発信する好機と捉えて、積極的なプロモーション活動を展開したい。



かとう まさる
加藤 優〔公明党〕



▶ 災害発生後の備えについて

問 避難所と防災備蓄倉庫の現状は。

答 市内の小中学校および地区公民館の25施設を指定避難所として、加えて幼稚園・こども園・保育所・児童センター等の59施設を指定緊急避難所として指定している。さらに、民間福祉施設と協定を結び、指定福祉避難所として19施設を指定し、市が災害時に使用する施設は合計で103施設ある。防災備蓄倉庫は市役所に隣接する防災拠点施設をはじめ、各地区に10か所、小中学校に15か所、北陸自動車道の高架下にも3つのコンテナ型の防災備蓄倉庫を備えている。

問 能登半島地震での大きな課題の一つ、避難所におけるトイレ不足について市の対応は。

答 市では災害時のトイレとして、貯槽式の簡易トイレを20基、オストメイト用トイレを3基、車椅子対応のマンホールトイレを2基、ラップ式簡易トイレを54基、プラスチック段ボール製簡易組立トイレを99基備蓄している。また、補正予算で袋式簡易トイレ1万6,000回分を備蓄する予定。

問 避難所の空調設備にLPガス災害バルクの導入は。

答 災害対応LPガスバルク設備は、LPガスのバルク貯槽とメーター・ホース・調整器などの供給設備と、煮炊き釜・コンロ・空調機器・発電機などの消費設備を組み合わせたシステムである。ライフラインが寸断されてもLPガスによるエネルギー供給を安全かつ迅速に行うことができる。今後、情報を収集し施設整備の比較検討ができるように準備を進めたい。

【その他の質問】

- HPVワクチン・キャッチアップ接種について



さかい ゆきこ とう さばえ
酒井 友季子〔ふくいの党・鯖江〕



子どもの学校生活について

問 学校で水筒の中身を飲み干した子どもたちのために、小中学校にボトル給水型冷水機の導入の検討をお願いしたい。

答 教育長 現在、各学校が状況に応じて水分補給の対策を行っている。今後は冷水機の導入も含めて、校長会や学校現場の話も聞きながら、児童・生徒の安心安全な学校生活の確保に努めていく。

問 冬期スクールバスを利用する市民のアンケート結果についてどう感じるか。

答 結果から費用が負担になっていることが分かる。様々な意見がある中で、公平性・公共性のバランスを図りながらの支援が必要である。

問 費用負担が少ない公共交通機関の利用が望ましいが、つつじバス通学便の廃止の理由と復活させるに当たっての課題は何か。

答 利用者が少なく廃止に至ったという経緯がある。令和4年から現在のバスは高齢者の足の確保に重点を置いたダイヤに編成をした。利用者を増やすこと、運行経費の増大、運転手不足の解消等が課題である。

つつじマラソンについて

問 日常用車椅子ランナー部門の復活を検討してほしい。

答 他市町で日常用車椅子ランナーの参加が認められている大会での条件なども調べながら、様々な角度からの意見を聞き、健常者と障がいのある人が垣根なくマラソンに参加できるよう実行委員会に諮っていきたい。



日常用車椅子



きむら あいこ しみんそうせいかい
木村 愛子〔市民創世会〕



佐々木市政の4年間を総括して

問 一人ひとりに寄り添える福祉政策が大事と思うが、市長の所見は。

答 市長 福祉総合相談室を設置し、相談件数延べ114件で、障がいやひきこもりに関する相談が全体の5割を占める。対象者に合わせた相談支援機関等との連携支援を継続し、本人や世帯に寄り添った専門職による伴走支援と、地域住民同士の人と人とのつながりを基盤としたセーフティーネットを強化し、一人ひとりが生きがいややりがい、役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことができる地域共生社会の実現に向けた地域づくりに取り組んでいく。

問 鯖江駅東・周辺駐車場の料金体制の見直しは。

答 鯖江駅周辺全体の再整備の再検討を行っている状態で、駐車場の在り方、また料金体制も併せて検討していきたいと考えている。

問 嚮陽会館複合交流施設の2階部分の市民活動拠点について、所見は。

答 複合交流施設整備を行う嚮陽会館の2階を、市民活動の交流の強化と市民力の向上につながる新たな活動拠点となるよう、具体的な機能の設置について協議を続けていく。

問 まちづくりで交通手段は非常に重要。ダイヤ編成もさることながら、バスの小型化、福祉バスの復活、冬場のスクールバス、ちょいボラ交通、デマンドバス等、交通難民の総合的な政策が求められるのでは。

答 デマンド交通などに取り組んでいる市町の利用状況等も研究し、多様なニーズにお応えできる対応を研究していきたいと考えている。



だいもん よしかず せいせいかい
大門 嘉和〔清鯖会〕



まなべの館と現NPOセンターについて

問 現NPOセンターを新美術館として整備し、まなべの館と一体として運営できればお互いの利便性が向上し、文化祭展示や大きな特別展なども開催できる。まなべの館は博物館として、現NPOセンターは美術館として再整備できないか。

答 まなべの館は開館当初は資料館だったので、展示のための室温度の調整機能、バックヤードの不足など、博物館としての機能が不十分な状態である。また、隣接するNPOセンターは現在整備計画を進めている嚮陽会館複合交流施設への機能移転を検討している。

久里洋二作品をはじめとした美術収蔵庫の在り方、市民文化団体の文化活動の場としての展示スペースの確保という課題もある。市民にとって分かりやすく利用しやすい施設整備の方向性について幅広く検討している。

貴重な美術品、郷土資料を今後も適切に保存活用し、芸術文化発信の拠点として博物館施設の充実を図るために、美術、歴史のゾーニング、施設全体の今後の在り方、それから名称も含め、あらゆる角度から検討を重ねていきたい。

【その他の質問】

- ・佐々木市長の1期目の総括
- ・地方交付税について
- ・伝統工芸越前漆器のこれから



まなべの館とNPOセンター



はやした とよひこ
林下 豊彦〔新清風会〕



総合型地域スポーツクラブについて

問 中学校の部活動の地域移行という問題がある。鯖江市には各中学校区域に総合型地域スポーツクラブが存在しており、部活動を受け入れる環境としては理想的な環境であるが課題はないのか。

答 指導者の確保が課題である。現状は部活動ができない休日も教職員が兼職兼業の手続きを取って指導に当たるケースが大半である。総合型スポーツクラブとともに地域指導者の確保に努めており指導者の数は増えているが、今後さらに増やしていく必要があると考えている。また、保護者の会費負担や送迎の問題など保護者の皆様に御理解いただかなければならない課題があり、継続して取り組んでいる。



たなか よしゆき
田中 良幸〔創造〕



有機フッ素化合物の汚染について

問 テフロン加工のフライパンなどに使われている有機フッ素化合物(PFAS=ピーファス)の発がん性がクローズアップされている。環境省の3月の調査で、大阪府摂津市の地下水では基準値の420倍という数字も出ている。鯖江市が最後に行った調査はいつか。

答 環境省により、PFASは令和2年5月に要監視項目に指定され、県の指示で同年11月に市の上水の取水口近くの下司ポイントでモニタリング調査を行った。結果は公共用水域および地下水とも汚染されていない。

問 では、水道水はどうか。

答 今年8月に最新の調査を行っており、基準外、測定不可

防災危機管理について

問 防災備蓄品については能登半島地震などの経験を踏まえて水やトイレに関して準備はできているようだが、防災本部が設置される鯖江市役所での72時間の自主電源確保はできているのか。

答 本館屋上に非常用の発電機が設置されているが、その発電容量は小さく、防災行政無線や本部が設置される防災会議室の照明や電源を確保する程度で、極めて限定的であり決して十分とは言えない。発災直後に必要となる庁舎機能を再検討し、方向性を示す。

意見 国の地方公共団体の事業継続の手引きや調査結果にも非常用電源に関しては詳しく示されており、全国と比較しても鯖江市は準備が遅れている。早期の非常用電源設備の設置を要望する。

の数値で、汚染はないという結果が出ている。

学校給食の実状について

問 小学校の自校調理を担当する学校給食調理員は市全体でどれくらいか。

答 12校で総数47名。うち、市の正規職員は7名、月額制の会計年度任用職員が5名で、これら12名が各学校のリーダー。さらに、時給制の会計年度任用職員が35名いる。

問 今後も、自校給食を続けるのか。

答 市の教育大綱の中でも食育を推進すると謳っている。調理員の皆さんがいつも自分たちのために温かい給食、おいしい給食を作ってくださっていることへの感謝、そういったことが子どもたちの心身の成長には欠かせない。また、学校給食畑が学校の近くにあり、そこを使って、旬の野菜の収穫体験もしている。可能な限り自校給食を堅持していきたい。



とうい ただよし
東井 忠義〔市政新風会〕



人口減少対策について

○賃上げと雇用の安定化について

問 収入面や雇用の不安定から結婚に踏み切れなかったり、子どもを持つことをためらったりすることが調査結果からも明らかになっている。昨年12月議会において賃上げに関し地域経済団体と話し合うと答弁されたが。

答 人件費の上昇が市内企業の経費圧迫要因の一つとなっているが、鯖江商工会議所との賃上げに関する意見交換を今年に入ってから複数回行っている。今後も鯖江商工会議所と連携し、安定した雇用の確保に向けて、関係機関と慎重に協議を重ねていく。

○結婚支援について

問 市民が結婚相談する場合は。

答 婦人福祉協議会に委託し、月3回アイアイ鯖江にて結婚相談を実施している。マッチングアプリについては、県と県内17市町で構成されているふくい結婚応援協議会において、ふくい婚活サポートセンターマッチングシステムを運用している。

問 85%以上の人がいずれは結婚したいと考えているとの統計がある。経済面での結婚支援策は。

答 結婚新生活支援事業として、39歳以下の夫婦で、合計所得が500万円未満の世帯に対し、結婚に伴う新生活の費用30万円(夫婦ともに29歳以下の場合は60万円)を補助している。その他にも、早婚夫婦支援事業などを実施している。

○出生率低下と男女共同参画の推進について

意見 出生率の低下は、育児が母親任せになっていることや女性が育児と仕事の両立で負担となっていることも要因となっている。男女共同参画の推進が必要である。



かえりやま あきお
帰山 明朗〔無所属の会〕



▶ 本市における指定管理者制度に係る課題への対応について

問 指定管理者制度における公の施設の公共性、サービスの質の向上のために、その施設で労働者の方が安心して働ける賃金、労働条件を担保するための制度を検討すべきではないか。

答 全国的に最低賃金が大幅に上昇している状況であり、福井県においても2024年度の県最低賃金を現在の時給 931円から53円引き上げて984円とする答申がなされ、過去最大の上げ幅となっている。本市としては、人件費の増加に伴う指定管理者の経営悪化を防ぎ、安定した管理運営と市民サービスの維持向上を図るため、人件費の変動に応じて指定管理料を随時見直す制度を検討していく。

問 将来想定される自然災害の発生時に向けて、施設ごとに予め発生し得るリスクを整理した上で、その回避策を検討することは極めて大切だ。本市の指定管理運営施設の多くは市の緊急避難所に指定されているが、災害発生時の市と指定管理者との連携体制は十分か。

答 現在の市と指定管理者との基本協定では、避難場所となった場合の指定管理者の具体的な役割や権限などの詳細な事項までは定められておらず、十分とは言えない。今後、それぞれの施設の性質や災害リスクも十分考慮した上で、より具体的に定め災害時に備えたい。

※参考「指定管理者制度」は民間企業やNPOなどの団体が自治体に代わって公共施設の管理運営を行う仕組み。現在、鯖江市では市内の35施設に同制度が導入されている。



にし の ゆか
西野 有香〔SABA LABO〕



▶ 魅力ある里山、三床山に係る整備について

問 里山登山は誰でも楽しめるアクティビティーであり、家族連れや初心者など、多くの人々が利用する。三床山は大変人気な里山で、王道ルートかつ人気コースでもある石生谷トンネルのルートを利用する人がかなり多い。登山者からはトイレ設置の要望があり、地区も全面協力するという話である。里山登山におけるトイレ設置は、環境保護、登山者の快適さと衛生、そして地域の観光資源の維持において欠かせない要素ではないか。市で体験型観光資源の整備として、コースや見どころの掲示も含め、鍵の開け閉めの必要がない公衆トイレの設置をお願いしたいが、いかがか。

答 豊地区の皆様には登山者の利便性向上に御尽力をいただき、おもてなしの心に深く敬意を表する。登山者用トイレの設置については、これまでも区長会を通じて要望をいただいております。その必要性を認識している。新たなトイレの設置には、町内会による用地の確保と設置後の維持管理が前提となるが、市としても建屋や設備の設置に要する十分な財源の確保が必要となるため、今後これらの課題を総合的に検討しつつ、候補地の選定などを順次行っていく必要がある。トイレの設置をはじめ、登山者の利便性向上について、引き続き地元の皆様と協議を進めていきたい。



三床山

一般質問を見てみよう！

市役所の議場で

議会の本会議は、市役所の議場で傍聴することができます。



YouTubeで

YouTubeの鯖江市議会チャンネルで、動画を配信しています。
 ＊右のQRコードまたは各議員の質問欄に掲載のQRコードを読み取ること
 で視聴できます。



こしの都TV9チャンで

こしの都TV9チャン(旧：丹南ケーブルテレビ)で生中継・録画放送を行っています。



会議録で

鯖江市議会の会議録検索ページから、会議録の閲覧ができます。
 ＊掲載までに時間がかかる場合があります。
 順次掲載いたしますので、ご了承ください。

議会報告会運営委員会

東陽地区活性化プロジェクトの中間発表会 ～東陽中学校3年生と議員の語る会～

未来を担う子どもたちと議員が語り合い、意見聴取・意見交換などを行う機会として「東陽地区活性化プロジェクトの中間発表会 ～東陽中学校3年生と議員の語る会～」を10月21日に実施しました。

東陽中学校の3年生約90名と議員17名が9グループに分かれ、校内での最終発表会に向けて、生徒が作成したプランの中間発表を行いました。その中で、議員からアドバイスをしたり、意見交換をしたりしました。



議場見学では、議員から議会の仕組みの説明を聞き、実際に、議員席や市長席などに座ってみました。

議場で記念撮影



グループ①～④

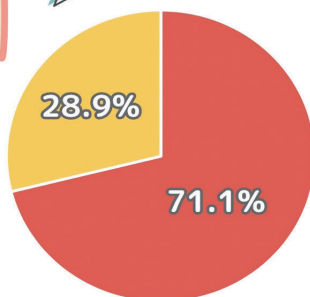


グループ⑤～⑨

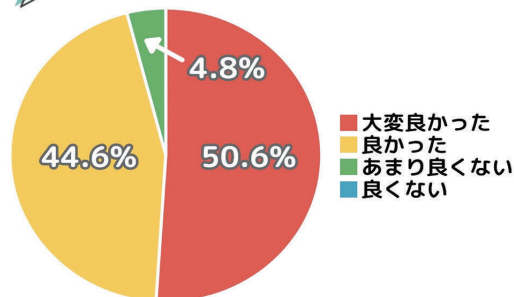
東陽中学生の皆さんに
アンケートしました！



議場見学



グループワーク



全体の感想

- 市議会は自分たちにとって遠い場所だと思っていたが、見学してみると条例など身近なところに市議会の仕事があるとわかった。
- いろいろなアドバイスをもらってとても参考になったし良い体験もできてとても良かったし席に座れて嬉しかった。
- 議場を見学して、前回学校に来てくださったとき説明してくださったことを実際見て学ぶことができて良かったです。
- 市議会の見学では、めったに見ることができない話し合いの場所を詳しく見ることでとても貴重な体験になりました。自分たちの発表を真剣に聞いてくださって、喋りやすかったです。

中学生の職場体験・高校生のインターンシップ

10月に市内の中学校と武生商工高校の生徒が職場体験に来られました。議会の説明を聞いたり、議場を見学したりして、事務局の仕事を体験しました。

議場見学の感想(中学生)

- ・ 広かった。
- ・ 初めて議場に入って、議長席に座ってみたりして、貴重な体験をさせてもらって楽しかった。
- ・ 床がふわふわしていてすごかった。けっこう広く感じました。
- ・ 議会のための場所だけど、傍聴者の人にも見やすいような工夫がされていて驚きました。初めて議場に入り、めずらしい体験ができました。
- ・ 意外と広くてびっくりしたし、どういう人がどこに座っているのかなど、あまり知らなかったことを知れて楽しかったです。



ありがとう
ございました！



インターンシップの感想(高校生)

3日間のインターンシップで普段の学校生活では体験できない、議会の見学や仕事を体験しました。議員さんに渡す資料作成や事務作業を通して、パソコン作業の難しさや目上の方との接し方を学ぶことができました。議長さんとお話しする機会をいただき、アドバイスや挑戦することの大切さを教えていただきました。

今後の進路決定に向けて、インターンシップでの経験を生かしていきたいと思います。初めての経験で不安なことが多かったですが、職員の皆さんがとても優しく教えてくださり、本当にうれしかったです。

とても楽しく、勉強になりました。3日間ありがとうございました。

姉妹都市村上市との交流会

江戸享保期に村上藩主間部家が国替えとなり、初代鯖江藩主となったご縁から、市は新潟県村上市と昭和56年に姉妹都市を締結。以来両市議会においては、相互交流事業を実施し、今回は鯖江市議会が10月23日～24日に村上市を訪問しました。5年ぶりの訪問となった今回も、両市議会が互いに現況を報告するなど交流を深めました。



【次回】 第447回 12月定例会日程（予定）

日 付	会 期 日 程	こしの都TV9チャン放送予定 (旧：丹南ケーブルテレビ)
11月27日(水)	10時 本会議(提案理由説明)	生放送
11月29日(金)		18時 再放送(11/27本会議分)
12月9日(月)	10時 本会議(質疑、代表・一般質問)	生放送
12月10日(火)	10時 本会議(一般質問)	生放送
12月11日(水)	10時 本会議(一般質問)	生放送
12月12日(木)	9時30分 常任委員会	
12月13日(金)	9時30分 常任委員会	
12月16日(月)		18時 再放送(12/9本会議分)
12月17日(火)		18時 再放送(12/10本会議分)
12月18日(水)		18時 再放送(12/11本会議分)
12月20日(金)	10時 本会議(委員長報告、採決)	生放送
12月24日(火)		18時 再放送(12/20本会議分)

※ 進行状況により時間の変更が生じる場合があります。

※ 委員会の放送はありません。

あなたの写真で表紙をかざってみませんか！

あなたの写真が表紙になります！鯖江市内で撮影された素敵な写真をご応募ください。
表紙に採用された方には、素敵な商品（地場商品など5,000円相当）をプレゼント！

応募する写真 鯖江市内で撮影された人物・風景・行事などの写真

応募方法 お名前、連絡先、写真の撮影場所をご記入の上、議会事務局へEメールか、郵送、
またはご持参ください。＊右上の応募フォームからでもご応募いただけます。

次号の応募締切 令和7年1月10日（金）



応募フォーム

編集後記

議会報は小説のような読み物とは違いますから、議会でどんな議論が交わされたのか、どんなことが決まったのか、それらを効率よく、市民の皆さんにお伝えしないといけません。大きな流れを書くのか、細かいデータを載せるのか…。ここが難しいところで、たくさんさんの文字や数字で解説しても話がうまく伝わらないということもしばしば。こうしたらもっと読み易いの、というご意見をぜひ！

広報委員 田中 良幸

今回の応募作品 (一部)



高嶋 幸平 さん



r. さん



渡辺 修一 さん

今号は、9月定例会の内容を掲載しており、発行時の状況と一致しない場合があります。